



2021年7月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年12月2日

上場会社名 ウチダエスコ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4699 URL <https://www.esco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江口 英則

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 久保 博幸

TEL 047-382-4111

四半期報告書提出予定日 2020年12月3日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年7月期第1四半期の連結業績(2020年7月21日～2020年10月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期第1四半期	3,829	35.4	260	71.3	261	71.2	183	70.7
2020年7月期第1四半期	5,923	68.9	907	383.5	908	381.4	626	377.0

(注) 包括利益 2021年7月期第1四半期 188百万円 (70.1%) 2020年7月期第1四半期 632百万円 (372.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年7月期第1四半期	50.95	
2020年7月期第1四半期	174.12	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年7月期第1四半期	13,447	6,519	48.5
2020年7月期	13,751	6,492	47.2

(参考) 自己資本 2021年7月期第1四半期 6,519百万円 2020年7月期 6,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期		0.00		45.00	45.00
2021年7月期					
2021年7月期(予想)		0.00		45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年7月期の連結業績予想(2020年7月21日～2021年7月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,400	6.7	1,300	24.1	1,300	24.3	900	24.5	250.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年7月期1Q	3,600,000 株	2020年7月期	3,600,000 株
期末自己株式数	2021年7月期1Q	4,765 株	2020年7月期	4,730 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年7月期1Q	3,595,265 株	2020年7月期1Q	3,595,398 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響に伴う急減速から、拡大防止を心がけつつ段階的に経済活動水準を持ち直すという両立行動へのシフトを図る中、景気の持ち直し傾向はみられるものの、そのペースは緩やかなものにとどまっています。

当社の属するICT業界においては、学校市場では、GIGAスクール構想で計画されていた1人1台端末配備を、当初スケジュールの2023年度中の完了予定から2020年度中の完了を目指す方向への前倒しが行われており、また民間市場では、テレワーク（在宅勤務、サテライトオフィス勤務及びモバイルワーク）の実施に見られるような働き方改革が行われており、学び方や働き方に係るデジタル化の流れが市場の違いに関わらず加速されています。

当社グループは、こうした新たなICT需要に積極的に対応するとともに、当期が2年目となる第11次中期経営計画（2020年7月期～2022年7月期）の推進をしております。この計画の推進及び経営管理のツールとして、当社ではバランススコアカードを使用しており、14の重要成功要因との中で特に重視する重点基本方針である「顧客体験価値の創造～心のこもったおもてなしの提供～」に基づく事業分野毎の目標達成に取り組んでおります。

こうした中、当第1四半期連結累計期間の業績については、売上高は38億29百万円、前年同四半期比20億94百万円（35.4%）の減少となりました。利益面では、営業利益は2億60百万円、前年同四半期比6億46百万円（71.3%）の減少、経常利益は2億61百万円、前年同四半期比6億46百万円（71.2%）の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億83百万円、前年同四半期比4億42百万円（70.7%）の減少となりました。

当第1四半期連結累計期間における事業セグメントの概況は以下のとおりです。

(ICTサービス事業)

学校市場においては、GIGAスクール構想案件の積極的な取り込みとともに、同案件作業については、短期間に集中することが予想されることから、品質確保と納期遵守に向けた体制作りを進めました。また、民間市場においては、新型コロナウイルス感染症の影響により新規案件の開拓が困難な状況の中、顧客及びパートナー企業の状況に合わせた提案により案件の顕在化を図っています。

当第1四半期連結累計期間の業績は、前年同四半期には、大型案件の販売があったことに加え学校市場向けタブレット型端末等の販売及び導入サポート案件が集中していたこと等、の影響により、前年同四半期を大幅に下回る結果となり、売上高は27億23百万円、前年同四半期比19億21百万円（41.4%）の減少、セグメント利益は2億66百万円、前年同四半期比5億94百万円（69.0%）の減少となりました。

(オフィスシステム事業)

サブライビジネスにおいては、お客さまの業務効率化とコスト削減をテーマにクラウド型間接材調達支援サービス等による直接販売の拡大に取り組みました。オフィスビジネスにおいては、企業の働き方改革をテーマに販売促進活動を積極的に推進し、オフィス移転やリニューアル等の案件拡大に取り組みました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症拡大により、サブライビジネスにおいては、テレワークの実施に伴いプリント量が大幅に減少し、その結果トナーカートリッジ等の販売が低調であったこと、またオフィスビジネスにおいては、企業のオフィス移転案件の減少や延伸があったこと等により、売上高は8億91百万円、前年同四半期比1億10百万円（11.0%）の減少、セグメント利益は24百万円、前年同四半期比7百万円（23.5%）の減少となりました。

(ソリューションサービス事業)

民間企業、学校、公共機関の各市場のお客さまに対して、当社が得意とする業務アプリケーションソフトの導入及び運用支援サービスの提案を強化するとともに、業務プロセスの品質改善、お客さま満足度の向上及び生産性向上に継続的に取り組みました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、民間企業では新型コロナウイルス感染症の影響により業務アプリケーションソフトへの投資先送り等があったこと、また公共機関では大規模な法改正が見られなかったこと等により、前連結会計年度末における受注残高が低調となり、売上高は2億14百万円、前年同四半期比62百万円（22.6%）の減少、セグメント損失は30百万円（前年同四半期はセグメント利益14百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は134億47百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億3百万円減少しました。

流動資産は111億28百万円、前連結会計年度末比3億35百万円の減少となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加5億73百万円、商品の増加3億69百万円、並びに仕掛品が3億3百万円増加したこと等に対して、現金及び預金の減少10億46百万円、並びに電子記録債権が5億66百万円減少したこと等によるものです。

固定資産は23億19百万円、前連結会計年度末比32百万円の増加となりました。これは主に建物（純額）の減少5百万円、無形固定資産の減少4百万円、並びに敷金及び保証金が4百万円減少したこと等に対して、繰延税金資産の増加40百万円、並びに投資有価証券が4百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は69億28百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億30百万円減少しました。

流動負債は55億14百万円、前連結会計年度末比3億18百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加3億34百万円、賞与引当金の増加2億12百万円、並びにリース債務が6百万円増加したこと等に対して、未払法人税等の減少2億57百万円、その他流動負債の減少2億52百万円、短期借入金の減少1億50百万円、並びに未払金が89百万円減少したこと等によるものです。

固定負債は14億13百万円、前連結会計年度末比12百万円の減少となりました。これは主に退職給付に係る負債が11百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は65億19百万円となり、前連結会計年度末に比べて26百万円増加しました。これは主に配当金の支払1億61百万円と親会社株主に帰属する四半期純利益1億83百万円の計上による利益剰余金の増加21百万円、並びにその他有価証券評価差額金が2百万円増加したこと等によるものです。

自己資本比率は前連結会計年度末の47.2%から1.3ポイント増加し、48.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月期の連結業績見通しは、2020年8月31日付「2020年7月期決算短信」にて公表致しました数値からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年10月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,993,692	5,946,728
受取手形及び売掛金	2,110,236	2,684,140
電子記録債権	1,745,774	1,179,150
リース投資資産	231,839	239,001
商品	123,058	492,067
仕掛品	124,245	427,937
原材料及び貯蔵品	2,976	23,923
その他	132,690	136,088
貸倒引当金	△790	△938
流動資産合計	11,463,722	11,128,098
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	358,657	352,828
工具、器具及び備品（純額）	93,178	96,148
土地	693,332	693,332
リース資産（純額）	53,311	52,628
有形固定資産合計	1,198,480	1,194,937
無形固定資産	134,261	129,486
投資その他の資産		
投資有価証券	156,220	161,150
敷金及び保証金	210,080	205,852
繰延税金資産	586,956	627,088
その他	2,400	1,915
貸倒引当金	△743	△754
投資その他の資産合計	954,915	995,253
固定資産合計	2,287,658	2,319,677
資産合計	13,751,381	13,447,776

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年10月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,617,076	1,951,967
短期借入金	260,000	110,000
リース債務	83,041	89,729
未払金	401,551	311,692
未払費用	516,181	471,279
未払法人税等	374,880	117,379
前受金	1,739,246	1,660,364
賞与引当金	493,453	706,048
工事損失引当金	246	1,064
その他	347,644	95,317
流動負債合計	5,833,323	5,514,841
固定負債		
退職給付に係る負債	1,216,197	1,204,350
リース債務	202,081	201,893
長期未払金	7,312	7,312
固定負債合計	1,425,591	1,413,556
負債合計	7,258,915	6,928,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	334,000	334,000
資本剰余金	300,080	300,080
利益剰余金	5,850,552	5,871,976
自己株式	△2,636	△2,853
株主資本合計	6,481,996	6,503,203
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72,133	75,116
退職給付に係る調整累計額	△61,663	△58,941
その他の包括利益累計額合計	10,469	16,174
純資産合計	6,492,466	6,519,378
負債純資産合計	13,751,381	13,447,776

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月21日 至 2019年10月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月21日 至 2020年10月20日)
売上高	5,923,425	3,829,370
売上原価	4,241,747	2,787,556
売上総利益	1,681,677	1,041,814
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	307,782	322,159
賞与引当金繰入額	92,616	98,453
退職給付費用	26,112	27,102
法定福利費	59,603	63,188
福利厚生費	22,877	22,125
賃借料	23,008	28,146
減価償却費	28,043	23,707
その他	213,681	195,955
販売費及び一般管理費合計	773,725	780,837
営業利益	907,952	260,976
営業外収益		
受取利息	44	15
受取配当金	568	702
受取地代家賃	263	324
その他	471	430
営業外収益合計	1,348	1,472
営業外費用		
支払利息	422	316
不動産賃貸費用	146	138
その他	5	84
営業外費用合計	574	539
経常利益	908,725	261,909
税金等調整前四半期純利益	908,725	261,909
法人税、住民税及び事業税	353,519	121,346
法人税等調整額	△70,832	△42,647
法人税等合計	282,687	78,698
四半期純利益	626,038	183,210
親会社株主に帰属する四半期純利益	626,038	183,210

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月21日 至 2019年10月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月21日 至 2020年10月20日)
四半期純利益	626,038	183,210
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,565	2,982
退職給付に係る調整額	2,487	2,722
その他の包括利益合計	6,052	5,705
四半期包括利益	632,090	188,916
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	632,090	188,916
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年7月21日 至 2019年10月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ICT サービス事業	オフィス システム事業	ソリュー ション サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,644,908	1,001,318	277,198	5,923,425	—	5,923,425
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,927	13,110	34,923	61,961	△61,961	—
計	4,658,835	1,014,429	312,121	5,985,386	△61,961	5,923,425
セグメント利益	860,838	32,540	14,573	907,952	—	907,952

(注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益の調整額はありませぬ。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年7月21日 至 2020年10月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ICT サービス事業	オフィス システム事業	ソリュー ション サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,723,757	891,125	214,487	3,829,370	—	3,829,370
セグメント間の内部売上高又は振替高	38,951	6,241	40,660	85,853	△85,853	—
計	2,762,708	897,367	255,148	3,915,224	△85,853	3,829,370
セグメント利益又は損失(△)	266,701	24,898	△30,623	260,976	—	260,976

(注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益の調整額はありませぬ。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。